

# 九条実現

## 4・10（日）

### 反戦講演会 イラク戦争、 憲法九条と私たち

—ベトナム終戦30年のいま—

日時：4月10日（日）午後1時～5時

会場：昭和女子大学人見記念講堂（154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7）

（電話：03-3411-5120 地下鉄：渋谷駅から東急田園都市線で2つ目「三軒茶屋駅」下車、徒歩5分 バス：JR 渋谷バスターミナルより三軒茶屋方向行き、昭和女子大学前下車下の地図参照）

講師：小田 実（作家、「九条の会」呼びかけ人、「市民の意見30・関西」代表、元「ベ平連」代表）

澤地久枝（作家、「九条の会」呼びかけ人）

鶴見俊輔（哲学者、「九条の会」呼びかけ人）

主催：市民の意見30の会・東京、市民意見広告運動

協賛：BOOMERANG NET（ブーメランネット）

参加費：1,000円（高校生以下は500円）大きな会場なので事前予約は必要ありません。定員2,000名

（電話およびFAX：03-3423-0266, 03-3423-0185 とともに共用）

お問合せ先：151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷

4-29-12-305

市民の意見30の会・東京、  
市民意見広告運動

（電話およびFAX：03-3423-0266,  
03-3423-0185 とともに共用）



E-Mail: [iken30@mwb.biglobe.ne.jp](mailto:iken30@mwb.biglobe.ne.jp)

[info@ikenkoukoku.jp](mailto:info@ikenkoukoku.jp)

上のデザインは、市民意見広告運動のポスターから

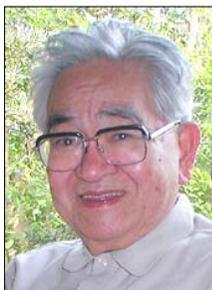
（裏面もご覧ください）

## 反戦講演会

# イラク戦争、憲法九条と私たち——ベトナム終戦30年のいま——

日時:4月10日(日)午後1時~5時

会場:昭和女子大学人見記念講堂



戦争のための最大の補給基地となったのです。そしていま、30年前と同じような泥沼の状況に入り込んでいるアメリカにひたすら寄り添い、ついには自衛隊までも戦地に派遣するにいたり、さら

今年4月30日は、サイゴン（現ホーチミン市）の南ベトナム政府が崩壊し、在ベトナムのアメリカ軍が全面的に撤退して、ベトナム戦争が終了してから満30年に当たります。

私たち、日本の反戦市民運動は、このベトナム戦争に反対する行動の中で、実に多くのことを学びました。

しかし、この戦争に最大の責任をもつ当のアメリカ政府と軍部は、この苦い経験から、学ぶべきことをまったく学びませんでした。現在のイラクの状況はまさにそのことを示しています。

また、日本の支配層も、やはり学ぶべきことを何も学びませんでした。ベトナム戦争の際、日本政府は、安保（日米安保条約）がある以上この国は中立ではありえないと言明し、ベトナム侵略に全面的に加担しました。沖縄をはじめとする在日米軍基地からは、ベトナム爆撃の飛行機が飛び立ち、日本はこの

さらにそれをこれからの日本の常態にさせようと、憲法9条の改悪まで行なおうとしています。

ベトナム終戦から30年を経た今、こうした状況を検討し、イラク戦争、自衛隊派兵、そして憲法改悪に対し、日本の私たちはどうすべきか、それを3人の講師の方々と一緒に考える場として、この集会を準備しました。

講師の3人は、みな、ベトナム戦争に反対する市民運動の中で大きな役割を担われ、また、現在も「九条の会」の呼びかけ人などとして活動を続けられている方がたです。また、いま私たちがすすめている「九条実現」の意見広告運動や、若者のグループ「ブーメランネット」による中東の新聞へのイラク民衆との連帯意見広告運動などを、賛同・支持されています。

ベトナム終戦30年のいま、イラク戦争、そして憲法9条と私たちのなすべき仕事を、一緒に考え、ともに実行してゆきませんか。

### 講師ご紹介

**小田実さん** 1932年生まれ。作家、「市民の意見30・関西」「良心的軍事拒否国家日本実現の会」代表。「九条の会」呼びかけ人。元「ベ平連」（ベトナムに平和を！市民連合）代表。また、阪神淡路大震災で被災後、被害者への公的支援の市民・議員立法運動も主導。著作多数。最近著に『随論 日本人の精神』（筑摩書房）（写真左）

**澤地久枝さん** 1930年生まれ。ノンフィクション作家。「九条の会」呼びかけ人。一貫して反戦市民運動に参加。著作：『妻たちの二・二六事件』『密約』『火はわが胸中にあり』（第5回日本ノンフィクション賞受賞）『記録 ミッドウェー海戦』（第34回菊池寛賞受賞）『昭和史のおんな』など多数。（写真中央）

**鶴見俊輔さん** 1922年生まれ。哲学者、評論家。「九条の会」呼びかけ人。「思想の科学」創立者。また1960年の安保闘争の際の「声なき声の会」、ベトナム反戦の「ベ平連」など日本の市民運動で指導的役割を果たす。著作多数。最近著に『戦争の遺したもの』（新曜社）（写真右）（裏をご覧ください）